

2022 年度事業報告

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

I. 糖尿病に関する調査及び研究 (定款第 5 条 1)

- 1) 糖尿病関連検査の標準化に関する調査検討
- 2) アンケート調査による日本人糖尿病の死因に関する研究
- 3) 糖尿病治療に関連した重症低血糖の調査
- 4) 膵・膵島移植に関する調査研究
- 5) インクレチン薬治療のヒト膵腫瘍発生リスクに関する臨床病理学的研究
- 6) 食事療法に関する研究
- 7) 診療録直結型全国糖尿病データベース事業(J-DREAMS)
- 8) 1 型糖尿病の成因・病態に関する調査研究委員会
- 9) 単一遺伝子異常による糖尿病の実態解明と診療指針の作成
- 10) 我が国における 1 型糖尿病の実態の解析に基づく適正治療の開発に関する研究
- 11) 2 型糖尿病に対する厳格な多因子介入が血管合併症と生命予後に及ぼす長期的な影響の検討(J-DOIT3)
- 12) レジストリ作成を通じた糖尿病をきたす希少疾患の治療標準化研究
- 13) 急性期病院における糖尿病専門医の役割の解析:DPC データの解析
- 14) 日本人 1 型糖尿病の包括的データベースの構築と臨床研究への展開

II. 糖尿病に関する学術講演会、討論会及び研究会の開催 (定款第 5 条 2)

1. 第 65 回年次学術集会

会長: 小川 渉 (神戸大学)

会期: 2022 年 5 月 12 日(木)-14 日(土)

会場: 神戸ポートピアホテル、神戸国際展示場、神戸国際会議場 +WEB 開催

参加者: 12,747 名

○会長講演

○理事長声明

○学会賞受賞講演

ハーゲドーン賞 糖尿病における β 細胞不全の分子メカニズムに関する研究
:From A Rare Disease to the Common Pathway

リリー賞 シグナル依存性の転写調節による糖尿病の肝病態の制御機構に関する研究
インスリン作用から紐解く糖尿病合併症の分子機構

女性研究者賞 生物物理学的手法を用いたインスリン開口放出機構の解明

○特別講演

Advancing a cure for beta cell failure in diabetes

- 特別講演 Signals and rhythms: Impact of energetic stressors on the control of metabolism in diabetes and obesity
- 会長講演 知の輝きと技の高みへ -人の集いがつくる明日の糖尿病学
- 会長特別企画 Susumu Seino—The Road Not Taken
- 会長特別企画 インスリン分泌機構の分子生物学的研究
 :KATP チャネルの構造解明を中心に
- 会長特別企画 ソマトスタチン受容体の発見から
 G 蛋白共役受容体ファミリー研究への展開
- 会長特別企画 膵β細胞のシグナル伝達分子の生理的役割の探求
 :KATP チャネルと Epac2
- 会長特別企画 清野進先生との 20 年に渡る研究生活
- シンポジウム テクノロジーの進化による糖尿病診療の変革..... 他 32 題
- 教育講演 糖尿病診療に際し考慮すべき「甲状腺」..... 他 28 題
- AASD/JDI モーニングセミナー
- EFSD との交換留学制度の報告会
- 新専門医制度に関する講演
- 第 5 回若手研究助成金成果報告会 11 題
- 若手研究奨励賞(YIA:Young Investigator Award)審査口演..... 15 題
- 医療スタッフ優秀演題賞 審査口演..... 11 題
- 一般演題 1,400 題(口演 719 題、ポスター681 題)

2. 「糖尿病学の進歩」

第 57 回「糖尿病学の進歩」

世話人 馬場園 哲也 (東京女子医科大学)

会 期 2023 年 2 月 17 日(金)~18 日(土)

オンデマンド配信:2023 年 2 月 20 日(月)~3 月 31 日(金)

会 場 東京国際フォーラム+WEB 開催

参加者 5,092 名

3. 地方会活動

1) 第 56 回日本糖尿病学会北海道地方会

会 期:2022 年 10 月 16 日(日)

会 場:札幌プリンスホテル(国際館パミール)+WEB 開催

会 長:三好 秀明 (北海道大学)

参加者:579 名

- 2) 第 60 回日本糖尿病学会東北地方会
会 期:2022 年 11 月 5 日(土)
会 場:仙台国際センター+WEB 開催
会 長:片桐 秀樹(東北大学)
参加者:843 名

- 3) 第 60 回日本糖尿病学会関東甲信越地方会
会 期:2023 年 1 月 28 日(土)~29 日(日)
会 場:ホテルメトロポリタン長野+WEB 開催
会 長:駒津 光久(信州大学)
参加者:1,999 名

- 4) 第 96 回日本糖尿病学会中部地方会
会 期:2022 年 11 月 19 日(土)~20 日(日)
会 場:富山国際会議場+WEB 開催
会 長:戸邊 一之(富山大学)
参加者:1,626 名

- 5) 第 59 回日本糖尿病学会近畿地方会
会 期:2022 年 11 月 5 日(土)
会 場:神戸国際会議場、神戸国際展示場+WEB 開催
会 長:小山 英則(兵庫医科大学)
参加者:1,857 名

- 6) 第 60 回日本糖尿病学会中国・四国地方会
会 期:2022 年 11 月 11 日(金)~12 日(土)
会 場:広島国際会議場+WEB 開催
会 長:米田 真康(広島大学)
参加者:1,030 名

- 7) 第 60 回日本糖尿病学会九州地方会
会 期:2022 年 10 月 7 日(金)~8 日(土)
会 場:福岡国際会議場+WEB 開催
会 長:小川 佳宏(九州大学)
参加者:1,907 名

4. 年次学術集会・糖尿病学の進歩・地方会の管理・運営

本学会が主催する年次学術集会の運営を一元的に管理し、財政負担を削減するために年次学術集会の運営に関して日本コンベンションサービスと長期契約を行い効率的な運用に努めている。また、糖尿病学の進歩および各地方会においても準備状況を適宜報告して頂き学会事務局でまとめている。

5. 支部長会活動

2023年2月16日に東京+WEB開催にて第11回支部長会が実施された。

6. 分科会活動

1) 第37回日本糖尿病合併症学会(第28回日本糖尿病眼学会総会と併催)

会期:2022年10月21日(金)~22日(土)

会場:国立京都国際会館+WEB開催で実施

会長:稲垣 暢也(京都大学), 村田 敏規(信州大学)

参加者:1,807名

2) 第36回日本糖尿病・肥満動物学会年次学術集会

会期:2023年2月17日(金)~18日(土)

会場:一橋大学一橋講堂+WEB開催で実施

会長:綿田 裕孝(順天堂大学)

参加者:101名

Ⅲ. 会誌、研究報告、研究資料及び図書の刊行 (定款第5条3)(定款第5条6)

1. 会誌

1) 「糖尿病」: 13回発行(第65巻4号~第66巻3号、第65回年次学術集会抄録号)

2) 「Diabetology International」: 4回発行(Vol.13・No.2, 3, 4, Vol.14・No.1)

2. 糖尿病患者向け指導書

1) 糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版 80,000部発行

2) 糖尿病治療の手びき 2020 改訂第58版 増刷なし

3) 糖尿病性腎症の食品交換表 第3版 増刷なし

4) 糖尿病食事療法のための食品交換表 活用編 第2版 増刷なし

5) カーボカウントの手びき 増刷なし

3. 医師および医療スタッフ向け指導書

1) 糖尿病療養指導の手びき 改訂第5版 増刷なし

2) 糖尿病治療ガイド 2022-2023 100,000部発行

3) 糖尿病学用語集 第3版	増刷なし
4) 糖尿病専門医研修ガイドブック 改訂第8版	増刷なし
5) 小児・思春期糖尿病コンセンサス・ガイドライン	増刷なし
6) 糖尿病診療ガイドライン 2019	増刷なし
7) 糖尿病医療者のための災害時糖尿病診療マニュアル	増刷なし
8) 医療者のためのカーボカウント指導テキスト	増刷なし
9) 高齢者糖尿病治療ガイド 2021	増刷なし
10) 高齢者糖尿病診療ガイドライン 2017	増刷なし
11) 小児・思春期1型糖尿病の診療ガイド	増刷なし
12) 糖代謝異常者における循環器病の 診断・予防・治療に関するコンセンサスステートメント	増刷なし
13) 統合失調症に合併する肥満・糖尿病の予防ガイド	増刷なし
14) 日本人の肥満2型糖尿病患者に対する 減量・代謝改善手術に関するコンセンサスステートメント	増刷なし

IV. 糖尿病専門医制度に関する事業(定款第5条4)

1) 学会専門医、研修指導医、認定教育施設の認定

専門医(内科)244名、専門医(小児科)17名、研修指導医114名、認定教育施設(I・II)26施設、教育関連施設5施設、連携教育施設(小児科)2施設の認定承認を行った。

2) 学会専門医、研修指導医、認定教育施設等の更新認定

専門医更新1118名、研修指導医更新776名、認定教育施設更新(I・II・III)135施設、教育関連施設更新4施設、連携教育施設(小児科)更新5施設の更新認定の承認を行った。

V. 内外の関係団体等との連絡および提携(定款第5条5)

1) IDF-WPR

IDF Congress が2022年12月に開催され、延期されていた General Assembly が執り行われ、門脇理事がIDF-WPRのChairに就任した。

2) EASD

第10回 East-West Forum が2022年9月に第58回 EASD 年次学術集会(2022年9月/ストックホルム)にて開催された。

3) EFSD

日欧交換留学プログラムは2022年度の募集を延期した。2023年度に再開する。

4) AASD

延期されていた The 13th IDF-WPR Congress, The 12th AASD Scientific Meeting が第10回日本糖尿病協会年次学術集会(2023年7月/京都)と同時開催することが承認され

た。

5) 第 58 回全国糖尿病週間の共催

期 間 2022 年 11 月 13 日～19 日

テーマ＝「アドボカシー ～偏見に NO！～」

- 6) 日本糖尿病協会への協力(「さかえ」発行の企画等)
- 7) 世界糖尿病デーへの参加(「世界糖尿病デー」関連イベントの開催)
- 8) 糖尿病腎症合同委員会
- 9) 膵臓移植中央調整委員会
- 10) 糖尿病医療の情報化に関する合同委員会
- 11) 糖尿病と癌に関する合同委員会
- 12) 日本肝臓学会・日本糖尿病学会合同委員会
- 13) 日本糖尿病・妊娠学会との合同委員会
- 14) 高齢者糖尿病の診療向上のための日本糖尿病学会と日本老年医学会の合同委員会
- 15) 日本循環器学会・日本糖尿病学会合同委員会
- 16) 診療録直結型全国糖尿病データベース事業(J-DREAMS)合同委員会
- 17) 日本糖尿病理学療法学会と日本糖尿病学会との実務担当者会議
- 18) 日本肥満症治療学会・日本肥満学会・日本糖尿病学会 3 学会合同委員会

VI. 国民に対する糖尿病診療に関する情報の提供および啓発 (定款第 5 条 6)

- 1) 第 65 回春季日本歯周病学会学術大会 2022 年 6 月 3 日～4 日
- 2) 第 57 回日本理学療法学術研修大会 in とやま 2022 年 7 月 9 日～10 日
- 3) 第 27 回日本小児・思春期糖尿病学会年次学術集会 2022 年 7 月 18 日
- 4) 第 9 回日本糖尿病協会年次学術集会 2022 年 7 月 23 日～24 日
- 5) 栄養の日・栄養週間 2022 2022 年 8 月 1 日～7 日
- 6) 第 34 回日本循環器病予防セミナー 2022 年 8 月 6 日～7 日、8 月 27 日～28 日
- 7) 第 8 回アジア栄養士会議(ACD2022) 2022 年 8 月 19 日～21 日
- 8) 第 39 回糖尿病 Up・Date 賢島セミナー 2022 年 8 月 27 日～28 日
- 9) 第 65 回秋季日本歯周病学会学術大会 2022 年 9 月 2 日～3 日
- 10) 第 21 回日本先進糖尿病治療・1 型糖尿病研究会 2022 年 10 月 8 日～9 日
- 11) 第 29 回国際高血圧学会(ISH2022) 2022 年 10 月 12 日～16 日
- 12) 公開セミナー腎臓病克服への挑戦 ―早期 CKD のエンドポイント― 2022 年 10 月 16 日
- 13) 世界糖尿病デー・健康啓発セミナー 2022 年 11 月 2 日
- 14) 2022 年度糖尿病予防キャンペーン西日本地区
市民公開講座「糖尿病とともに生きる」 2022 年 11 月 12 日
- 15) 2022 年度糖尿病予防キャンペーン東日本地区

市民公開講座「始めよう！アフター・コロナの糖尿病生活」	2022年11月20日
16) 第33回分子糖尿病学シンポジウム	2022年12月3日
17) 第33回日本糖尿病性腎症研究会	2022年12月3日～4日
18) 令和4年度「食育健康サミット」	2022年12月1日
19) PHR 普及推進協議会 PHR 普及推進フォーラム 2023	2023年2月19日

VII. その他本会の目的を達成するために必要な事業（定款第5条7）

1. 功労賞および研究奨励・研究業績の顕彰

坂口賞は門脇孝会員、清野進会員、横野浩一会員に、

学会賞ハーゲドーン賞は

谷澤 幸生 （糖尿病における β 細胞不全の分子メカニズムに関する研究:From A Rare Disease to the Common Pathway)

学会賞リリー賞は

酒井 真志人 （シグナル依存性の転写調節による糖尿病の肝病態の制御機構に関する研究）

土屋 恭一郎（インスリン作用から紐解く糖尿病合併症の分子機構）

女性研究者賞は

高橋 倫子（生物物理学的手法を用いたインスリン開口放出機構の解明）
の各会員にそれぞれ授与した。

第12回若手研究奨励賞は

伊藤 潤（新規FDG-PET/MRI撮像法の開発によるメトホルミン服用者における腸管ブドウ糖排泄の定量的解析）

遅野井 祥（RAGEによるマクロファージ活性化はインスリンシグナルと逆行性軸索輸送を減弱させ糖尿病性神経障害を悪化させる）

菅原 礼知安(miRNA-494発現抑制は脂肪細胞ベージュ化を介して寒冷耐性を誘導する)

堀谷 恵美（免疫チェックポイント阻害薬投与により誘発される1型糖尿病への間葉系幹細胞投与効果の検討）

松下 真弥（インスリン抵抗性下において、Irs2遺伝子のアンチセンスRNAが脂肪肝の病態形成に寄与する新たなメカニズムの解明）

第6回医療スタッフ優秀演題賞は

天川 淑宏（専門運動指導者不在のクリニックでも至適運動強度を患者自身が意識した運動行動とは）

稲垣 聡（2型糖尿病患者の自己管理行動規定因子の探索）

木村 晶子（糖尿病における患者－医療者関係の体験の質的記述的研究：診療・療養体験のインタビュー調査）

谷口 圭祐（意識障害を呈しない低血糖患者は病院前で救急隊に認知されていない）

治田 麻理子（日本人 2 型糖尿病患者における食品群摂取量と肥満の関連－JDDM における検討）

の各会員にそれぞれ授与した。(50 音順)